

## 広島市佐伯区

広島市佐伯区は広島市の西端に位置する広島市の8つの区のうちのひとつです。昭和60年に旧佐伯郡五日市町と広島市が合併し、五日市町をそのまま佐伯区としました。また、平成17年に旧湯来町との合併を経て、現在の佐伯区になりました。

区の南部は清流八幡川沿いに広がった平野部が、

極楽寺山などの山々で形成される山地部に取り囲

まれており、北部は水内川が東西に貫流、上流では谷あいの平地に集落が点在し、下流はやや広がりを

持つた河川沿いの平地にまとまつた集落が形成さ

れています。

湯来地区は広島の奥座敷として親しまれてきた

「湯来温泉」や広島藩主浅野家の温泉場でもあった

「湯の山温泉」など、恵まれた自然資源を有し、特産品

の「湯來の子持ちこんにやく」は多くの方に愛され

る一品です。また、佐伯区には約1万種類の植物を

展示する広島市植物公園や、全国に3箇所しかかない

造幣局の広島支局があります。年間を通してお楽し

みいただける佐伯区へ是非お越しください。



佐伯区民まつり(花の塔)

湯来温泉

湯の山温泉

広島市植物公園

造幣局広島支局

湯来温泉

広島市植物公園

湯来温泉